

【科目名】 老年心理学		【担当教員】 若松 直樹 (メールアドレス) wakamatsu@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 11:00～16:00 (月曜日～木曜日)
【授業区分】 専門基礎分野 (リハビリ関連科目)	【授業コード】 2-14-0435-0-2	
【開講時期】 2 年次 後期	【選択必修】 PT/OT/ST : 選択, RP/必修	
【単位数】 1 単位	【コマ数】 8 コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) テキストとなるプリントを配布するが、「講義ノート」を作成し、多くの情報を記録することを心がけること。		
【講義概要】 (目的) 一般に老年期は否定的なイメージで理解されるが、人間を生涯発達する存在としたなかでは発達の最終段階に相当する。加齢による身体的・精神的変化を理解し、老年期特有の課題や認知症などについて医療場面から把握し、高齢期リハビリテーションを促進する。 (方法) 加齢による身体・認知機能やパーソナリティ、家族機能などの変化について、正常範囲にあるとされる老化を踏まえた上で疾病や障害を伴う老化を理解する。		
【一般教育目標 (GIO)】 リハビリテーションを実施する上での高齢者の抱える諸課題を理解する。 【行動目標 (SBO)】 授業で取り上げるキーワードを説明できる。 受講生にとっての高齢者支援の切り口をイメージできる。		
【教科書・リザーブドブック】 テキストとしてのプリントを配布する。		
【参考書】 特になし。		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 定期試験を実施する。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小 テスト	レポ ート	成果 発表	実技	ポ ー ト フ ォ リ オ	その他	合計
総合評価割合		90	0	0	0	0	0	10	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	90	0	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造の力	0	0	0	0	0	0	0	0
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	10	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の 運営方法	学修課題(予習・ 復習)		時間 (分)				
1	イントロダクション 「老化の概念」を理解する	講義	講義ノートの完成		45				
2	高齢者の心理 1 「感覚・知覚・知的能力の変化」を理解する	講義	講義ノートの完成		45				
3	高齢者の心理 2 「人格・ストレス・人生の回想」を理解する	講義	講義ノートの完成		45				
4	高齢者の生活の質と健康 1 「高齢期の健康・健康寿命」を理解する	講義	講義ノートの完成		45				
5	高齢者の生活の質と健康 2 「ケアとリハビリテーション」を理解する	講義	講義ノートの完成		45				
6	高齢者と社会のつながり 1 「社会・家族・友人とのつながり」を理解する	講義	講義ノートの完成		45				
7	高齢者と社会のつながり 2 「プロダクティブエイジング」を理解する	講義	講義ノートの完成		45				
8	まとめ	講義	講義ノートの完成		45				

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。